



幼稚園だより

令和2年度

令和2年11月30日
文京区立湯島幼稚園

次の時代につなぐこと

園長 前田 宏子

さる11月27日に40周年記念式典が行われました。お天気にも恵まれ、文京区長様をはじめ、来賓の方々をお迎えし、無事行うことができました。以前お知らせしたとおり、ばら組では「かぶきかふえ ばらぐみや」を開店し、ばら組の子どもたちが来賓の方をおもてなししました。初めて会う大人たちでしたが、堂々とやり取りをしていました。式典第一部をホールで行い、その後第二部のゆり組による「お祝いスポットめぐり」を行いました。来賓の方を3グループに分けてご案内しましたので、ゆり組の子どもたちは同じ内容の出し物を3回行うこととなります。ちょっと大変かな…とっていたのですが、どの子どもも生き生きと誇らしげに発表していました。その後は保護者の方を対象として、「お祝いのつどい」を行いました。もも組の子どもたちはこのつどいからの参加です。少し緊張しつつも、楽しそうに踊ることができました。記念式典を行うのは10年に一度です。幼稚園のことを改めて振り返り、知る機会となりました。幼稚園の歴史を知り、次の時代を考えるきっかけにしたいと思います。

2015年よりOECDによるEducation2030プロジェクトが進められています。未来を生きる子どもたちに必要なことを検討していくものです。その中で2030年に成人として社会に出ていく子どもたちは現時点では存在していない仕事に就いたり、開発されていない技術を使ったり、現時点では想定されていない課題を解決する力などが必要になると考えられています。

どんな世界になろうとも自分の力を信じ、自分で考える力をもつ人が未来を切り開いていくことができると考えます。そのために必要な経験を幼稚園の時から積み重ねていきたいと思います。自分の力を信じるには自己肯定感を高めることが必要です。今回の周年行事においても各学年で様々な活動に取り組みました。自分たちがやって“楽しい”と感じ、周りの人からその姿を“認め”られ、“満足感”をもち、“誇らしさ”を感じる、その姿が経験の一つとして積み重なります。一つ一つの活動が意味をもっています。その積み重ねが未来につながると信じて毎日の保育を楽しんで過ごせるようにしたいと思います。

この1年は様々なことに会う毎日でした。不自由さを感じ、嘆くこともありましたが、その中から新たなことを見出したり、改めて大切なことを考えさせられたりしました。

2学期の終わりにあたり、保護者や地域の皆様に本園の教育活動にご理解ご協力をいただいたことを感謝いたします。ありがとうございました。